# **NEWS LETTER**

# 北東通信

季刊発行 2020年(春) Vol.4

# その「抗菌」本当に効果がありますか?

今回はご愛読の皆様にこっそりと抗菌印刷の裏表のお話をお伝えし、 また、なぜ今、抗菌印刷が必要とされているのかをご紹介させていただきます。

# 菌がついている、それだけでイメージダウン

昨今、おにぎりを食べられない人が増えている、という話があります。それは「手のひらにはたくさんの菌がついている」というイメージが浸透したせいではないでしょうか。菌がついている=汚い、そんなイメージがはびこる中、



「抗菌」に対する需要が高まっています。

例えば飲食店でのメニューやランチョンマット。医療の現場ではパンフレットや診察券、薬袋。出版関係では、図書館などで不特定多数の人の手に触れる書籍など多岐に渡ります。抗菌であることは、「安心・安全」を掲げることとなり、企業のイメージアップやアピールに繋がるのです。

#### 抗菌印刷には偽物もある!

「SIAA(抗菌製品技術協議会)」という機関は、抗菌作用のある製品に対し管理証明をする機関であり、取り扱う製品などに「抗菌性・安全性・適切な表示」が認められた企業だけが、この団体に入会することができます。しかし、残念ながら SIAA の認定を受けていないにも関わらず、抗菌印刷をうたっている企業もあります。 SIAA マークには、登録番号と何に対する認証なのかが記載されています。これらの番号と記載内容が抗菌製品の信頼の証となっているのですが、逆を申せばこれらの表記のない SIAA マークは、認証を受けていないということです。弊社は「SIAA」の認定を受けた企業であり、私たちがご提供する「抗菌印刷」には、確かな抗菌性があることが認められています。

# 「抗菌印刷」を取り扱う印刷会社は 全国わずか12社

印刷会社は全国で2万社ほどございますが、SIAAに正式登録されている印刷会社は2020年2月現在、全国で12社のみ。私たち北東工業は、そのうちの1社で

でざいます。また、弊社は日本の枚葉オフセット印刷の基準となる「Jaoan Color 認証」の「標準印刷認証」「マッチング認証」「デジタル印刷認証」「プルーフ運用認証」の4項目全てを全国初で取得。さらに、後述する「水なし印刷」まで対応している印刷会社は、全国でも弊社だけです。

# 他社にはない「抗菌+エコ印刷」で イメージアップ

弊社はオフセット印刷において「水を使わない印刷」を行っており、印刷時に生じる有害な廃液をカットすることができました。環境省の制定したグリーン購入法でも推進されているこの「水なし印刷」を、弊社では「全印刷機」で行っております。また、水と木を使わない、紙に代わる新素材「ライメックス」も取り扱っております。抗菌だけでなく、環境面でも、さらには印刷品質にも妥協を許さない唯一無二の「抗菌+エコ印刷」は、お客様の企業イメージを飛躍的に向上させるでしょう!

#### ◎バタフライマーク

水なし印刷を行なっている証明の認証マークです。水なし印刷方式は、水を使用しないため、有害な水を排出しない印刷方式です。 環境問題に対応したこの印刷方式は、2019年、グリーン購入法にも採用されました。



#### ◎におわなインキ

北東工業では、抗菌印刷に「抗菌プラスにおわなインキ」を使用しています。これにより、抗菌性の高い印刷物をご提供いたします。

#### ◎SIAAマーク

SIAA マークとは、抗菌製品技術協議会(SIAA)が制定した抗菌のシンボルマークです。抗菌性・安全性・適正な表示の3つの基準を満たした抗菌加工製品に対し、表示されるマークです。





#### お問い合わせはお気軽に

抗菌+エコ印刷については、無料サンプルをご用意しています。 是非、お気軽にお問い合わせください。



# 品質にとことんこだわる北東工業。

私たち北東工業は、印刷というもの作りに真摯に取り組んでいます。 その想いを、各部署の「匠」たちに語ってもらいます。



第3回目は、DTPから印刷への橋渡し役、北東工業刷版課の係 長、八幡にその取り組みについてインタビューをしました。

品質の安定を1番に考え、 商品にならない物が刷版課から流失しないよう 課内で取り組んでいます。

### 刷版課ではどのような作業を行っているのでしょ うか?

刷版課は、印刷の元となる「刷版」の出力を行なっている部署で す。ただ刷版を出力しているだけと思われがちですが、実はそうでは ありません。弊社では、指示された通りに出力を行うだけではなく、 プラスアルファとして、後の工程で起こり得るトラブルを、未然に防 ぐことを視野に入れて版面設計や出力を行なっているのです。

例えば、デザインの内容や使用する印刷機などの情報から、版量 (総インキ量) の多いものや見当がシビアなものなどは、適切な場 所へ配置するなど、その案件の状況にあわせて様々な工夫を行なっ ています。この工夫を怠ってしまうと、印刷がやりにくい、加工がし にくいなどのトラブルが起きてしまいます。また、後工程の部署から は、工程上の問題について常に情報収拾を行ない、課の改善に努め ています。

このように、刷版課では、刷版を出力することはもちろんのこと、 リスク回避やトラブル防止というプラスアルファの刷版出力を行 なっています。

#### 品質について取り組んでいることはなんですか?





刷版課における品質は、なにより刷版の現像機と出力機の清掃と メンテナンスが重要と考えています。

刷版は、版に付いたシリコンをブラシで削って絵柄を表現してい るので、ブラシの状態が悪いと網点の再現性が下がってしまいます。 特に、清掃不足により削ったシリコンが版に付着してしまうと、絵柄 が抜けてしまうなど印刷に悪影響を及ぼしてしまいます。ですので、 ブラシやローラーの状態の確認とカスの除去を行うため、現像機は 毎日清掃を行なっています。

毎日の清掃で目が届かない部分については、専門業者に依頼し、 現像機は2ヶ月に1回。出力機に関しては半年に1回、メンテナン スをおこない、機械の異常を未然に防いでいます。

清掃とメンテナンスの頻度については、他社に比べ、非常に多く行 なっておりますが、品質の安定には必要不可欠であると考えます。

また、出力された版の出力状況の確認については、問題なく出力

できているかを判別することができる、OK マークというものをつけ て、常に状態確認をしています。このマークがあることにより、いち 早く出力異常を判別することができ、異常が認められる版を次工程 に流さないよう、未然にトラブルを防いでいます。

その他、弊社では水なし印刷を行なっているため、刷版も水なし 専用の刷版なのですが、水ありに比べると非常にデリケートで傷が つきやすい性質なため、検版時や搬送時など全ての作業や行動で、 版の傷・ヘコミ・汚れなどのリスクを回避するため、傷がつくよう な余計なものを身につけないようにするなど、服装にも注意を払っ ています。

# カラーマッチングへの取り組みについて教えてくだ さい。

印刷では、データの数 値通りに印刷ができるこ とが理想ですが、実際の 印刷では、網点の太り (ドットゲイン) が起こ り、これが印刷の大きな 変動要因のひとつとなっ



ひと昔前までは、印刷オペレーターの経験や勘で印刷時にコント ロールを行っていたため、刷版課では印刷課からの要望によってそ の都度、調整を行うなど、非常に安定性に欠ける方法を行なってい ました。

しかし、現在は印刷機ごとに最適化した CTP カーブ (ドットゲイ ンを考慮した各色の印刷特性カーブ)を DTP 課で作成。刷版課 では、そのカーブを取り間違えないように維持・管理の上、運用を 行なっています。

カーブについては DTP 課が主体となり、定期的にテストチャート を出力の上、検査を行なっており、検査の結果、カーブの変更や修正 が行われることもありますが、都度、DTP 課と連携をとり、刷版課と してもカラーマッチングの取り組みを推進しています。

ひと昔前の方法に比べ、現在の方法は無理無駄がなく、お客様に も非常に信頼やお褒めの声をいただいていると聞いております。 刷版課としましても、非常に重要な取り組みと捉え、DTP 課との迅速 な連携や、普段の作業時における、維持・管理等に努めています。

# お客様に一言お願いします。

刷版課では、品質の安定のために日々の清掃、コンディションの 確認を最も重要なテーマとして掲げています。また、ご希望どおりの 商品を、間違いなくお届け出来るために、データに不備はないか、お 客様からのご依頼通りの商品の仕上がりとなるのかを考えて作業を 行っております。

北東工業は「安心の生産工場」を掲げています。お客様に安心して ご利用いただけるよう日々に努めてまいりますので、これからも どうぞよろしくお願い致します。



北東工業株式会社 www.hokuto-k.co.jp